

今年の100冊

読み終えたら指定の用紙に感想文を書いて、記念品をゲットしよう！
読書感想文は、年齢によって用紙が異なります。

・★のマークがあるものは、シリーズものなどです。「今年の100冊」のタイトル以外のものでも対象作品です。

・自宅にある本や、電子図書館の本も対象です。

かがみの孤城
辻村 深月/著

ポプラ社



学校で居場所を鏡の少女が集めた鍵を失った。そこに隠された大人の世界。少男少女の心と魂のミステリー。

①

少年と犬
馳 星周/著

文藝春秋



震災で飼った犬が、主の一人を失った。失った犬の目撃者。人々の命、心の旅。

②

52ヘルツのクジラたち
町田 そのこ/著

中央公論新社



傷を抱え、孤独に生きる少女。声を出さず、叫ぶ魂の物語。

③

未来
湊 かなえ/著

双葉社



「こんな未来はない。10年後の現実を待たない。少女の未来を撃つ。」

④

君の臍臓をたべたい
住野 よる/著

双葉社



臍臓の病を患うクラスメイト「僕」。正反対な二人の、切ない日々の記録。

⑤

黒牢城
米澤 穂信/著

KADOKAWA



籠城事件。犯人は？織田信長に謀反を起した黒田官兵衛の心理戦。

⑥

同志少女よ、敵を撃て
逢坂 冬馬/著

早川書房



家族を奪われた少女。戦場では？敵の胸をえぐる傑作。

⑦

夜に星を放つ
窪 美澄/著

文藝春秋



失う恐怖を乗り越え、再び静かに生きる。短編集。

⑧

八月の御所グラウンド
万城目 学/著

文藝春秋



万城目学が描く、奇跡の物語。京都市のグラウンドで、夏の日が輝く。

⑨

真相をお話しします
結城 真一郎/著

新潮社



マッリとチン、グアプリー、ヤリとモート、現代のミステリー。短編集。

⑩

小説8050

林 真理子/著

新潮社



引きこもりの息子が、再生を諦めず、父親の再婚を拒否し、家族の未来を切り拓く家族小説。

(11)

星落ちて、なお

澤田 瞳子/著

文藝春秋



天才の娘である河鍋暁斎の偉大な父の影に翻弄された、激動の人生。

(12)

自転しながら公転する

山本 文緒/著

新潮社



仕事、結婚、親の介護。30代女性のリアルな悩みを詰めた、めまぐるしく悩まされる自分の幸せを探る、共感必至の傑作。

(13)

アキラとあきら

池井戸 潤/著

徳間書店



同名の対決を命の激情熱き人間ドラマ。

(14)

犬がいた季節

伊吹 有喜/著

双葉社



高校に迷い込んだ一匹の犬。和変で紡がれた群像劇。

(15)

たゆたえども沈まず

原田 マハ/著

幻冬舎



天才画家ゴッホと、彼を支えた兄弟。浮世絵に命を燃やした兄弟の感動の美術小説。

(16)

宝島

真藤 順丈/著

講談社



戦後沖縄の混沌を駆け抜けた、友情と叫び。英雄の時代で生き抜く像劇。

(17)

そして、バトンは渡された

瀬尾 まいこ/著

文藝春秋



血の繋がらない親たちを4回もわった境で、切れない深い物語。

(18)

流浪の月

凧良 ゆう/著

東京創元社



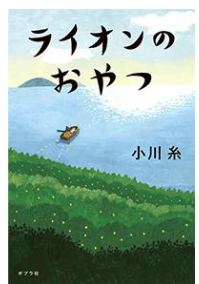
誘拐犯と被害女児としての二人の切実な再会。事実と愛を描いた本屋大賞受賞作。

(19)

ライオンのおやつ

小川 糸/著

ポプラ社



余命わずか女性がお過す、瀬戸内リクエストの思い出と共に、残された日々を生きる。

(20)

三千円の使いかた

原田 ひ香/著

中央公論新社



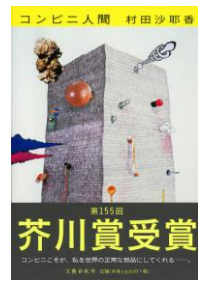
三千円の使いかたで人生が決まる。祖母から孫まで、世代の違う女性たちがそれぞれの岐路で向き合う、共感の家族小説。

(21)

コンビニ人間

村田 沙耶香/著

文藝春秋



完璧なコンビニ店員として生きるだけ、世界の「正常な歯車」になれる。世界のバグのようなヒロインが爆誕した、怪作。

(22)

お探し物は図書室まで

青山 美智子/著

ポプラ社



人生に訪れる様々な変化が、意図せず人生を左右する。

(23)

元彼の遺言状

新川 帆立/著

宝島社



手製薬の会社に残った、元彼の遺言状。女性巨額遺産相続するテリ。

(24)

六人の嘘つきな大学生

浅倉 秋成/著

KADOKAWA



人気企業の最終選考に残った6人。内定者を1人決める議論の最中、全員の「嘘」が暴かれる。二転三転する心理戦が痛快なミステリです。

(25)

蜜蜂と遠雷
恩田 陸/著

幻冬舎



ルの春美と誘
ちの青い、と
才た音楽へ
コン天才、福
ノ葛藤、響
ピノと熱がす
に挑む情さ
に才能のし
に才能のし

(26)

テスカトリボカ
佐藤 究/著

KADOKAWA



メキシルコ麻薬カ
ルテルと、日本
闇社会が、錯
アステカ神話の
塗られた信仰、
景に描かれる、
混沌の犯罪小
説。

(27)

推し、燃ゆ
宇佐見 りん/著

河出書房新社



推しの炎上から始
まる破壊と衝動。
生きつらさを抱え
る主人公の叫びを
と、圧倒的な熱量
と鋭い感性で描
いた芥川賞受賞作。

(28)

心淋し川
西條 奈加/著

集英社



淀るさきい、賞
生さきい、賞
隅に生さきい、
片川の希望、向
江戸の片川の希
だ川沿いの人々
江の川沿いの人

(29)

能面検事
中山 七里/著

光文社



屈にも表に無隠真
をに表に無隠真
に感情を無隠真
な圧力に無隠真
んぞ、ない「能
出さ「能面」の
「能面」の検事
差別テロの裏に
された、驚愕の
実が暴かれます。

★(30)

おいしいごはんが
食べられますように
高瀬 隼子/著

講談社文庫



タイトルと装丁か
らは想像がつか
ない衝撃作。職
場内で繰り広げ
られる人間関係
が「食」を通して
描かれています。

(31)

昨日がなければ明日もない
宮部 みゆき/著

文藝春秋



誰抱えけるん
もが理が引さ
心事三郎探偵
だす村三郎探
隠三郎探偵
鋭く解き明か
作です。

★(32)

盤上の向日葵
柚月 裕子/著

中央公論新社



山白中死見さた
骨匠体遺留品
は名匠の将棋
異端の棋士、
な半生と事件
を追う刑事の
交錯する本格
テリーです。

(33)

家族じまい
桜木 紫乃/著

集英社



親の認知症を機
に、それぞれの
人生を歩み出す
姉妹。血の繋が
りという呪縛を
ほどこき、大人
の引き際をリアル
に描いた連作短
編集。

(34)

熱源
川越 宗一/著

文藝春秋



樺太の過酷な自然
のなか、尊厳を
化と抗った人々
め抗った人々
インドの民俗学
運命が交わる
歴史劇。

(35)

ノースライト
横山 秀夫/著

新潮社



建築士の青瀬は、
自ら設計した美
い家が空になると
なっている。家族
はなぜ消えたのか。
長編のミステリー
です。

(36)

ののほな通信
三浦 しをん/著

KADOKAWA



往復書簡に綴られ
た少女たちの深い
愛と絆、歳月を経
て変容する関係性
を、まっすぐかつ
繊細に描いた物語
です。

(37)

平場の月
朝倉 かすみ/著

光文社



50歳を迎えて地
で再会した中学
の同級生である
女。互いに人生の
酸いも甘いも噛
み分けた、大人の
恋愛小説です。

(38)

燕は戻ってこない
桐野 夏生/著

集英社文庫

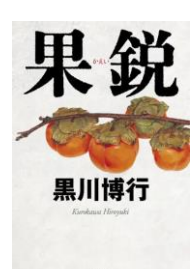


高額報酬の引き換
えに、「代理母」
となった29歳の女
性...。生殖医療の
光と闇をえぐり出
す衝撃作。

(39)

果鋭
黒川 博行/著

幻冬舎



元刑事のコンビが
狙いを定めたのは
パチンコ業界。警
察や極道が入り
乱れる20兆円産業
の闇と、悪党たち
の壮絶な騙し合い
が描かれています。

★(40)

おらおらでひとりいぐも

若竹 千佐子/著 河出書房新社



夫に先立たれ、孤独に暮らす74歳の桃子さん。孤獨の先で見つけた、心倒的な自由と、ユーモラスな感動作です。

(41)

霧をはらう

雫井 脩介/著 幻冬舎



小児病棟で起きた起疑容人母の殺人事件。点検され、捕まえられる。実護士が、真実を暴く。

(42)

アンマーとぼくら

有川 ひろ/著 講談社

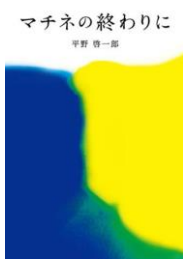


母（アンマー）との過ごす、沖縄へ旅行。3日間の旅の果て、優しい奇跡の涙が溢れます。

(43)

マチネの終わりに

平野 啓一郎/著 毎日新聞出版



天才ギタリストとジャーナリストの恋。東京・ニューヨークに運命を翻弄される大人の切ない愛に胸が締め付けられます。

(44)

新 謎解きはディナーのあとで

東川 篤哉/著 小学館



大富豪の令嬢刑事と、彼女に仕えるお嬢。凸凹コンビが難解な事件を軽妙に解決します。

★(45)

もう別れてもいいですか

垣谷 美雨/著 中央公論新社



「夫と別れたい...」その一言が言えないあなたへ。アラ還主婦がモカいい、自分を取り戻す一歩を応援する一冊です。

(46)

スクラップ・アンド・ビルド

羽田 圭介/著 文藝春秋

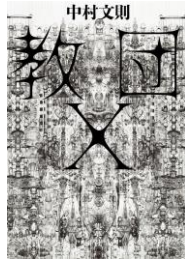


無職の青年が、死を望む祖父の介護を叶え、現代の閉塞感を描く芥川賞受賞作です。

(47)

教団X

中村 文則/著 集英社



一人の女性の失踪から、男は謎の闇に迷い込む。宗教、陰謀、読者の脳を狂わせる巨編。

(48)

むらさきのスカートの女

今村 夏子/著 朝日新聞出版



誰もが知る街の人間が、ただ一つの線を超えた恐怖とユモア。観察が、日常の裏に潜む物語。

(49)

夜が明ける

西 加奈子/著 新潮社



現代社会の貧困や労働の闇に直面し、友情と成長を描かれています。中で、過酷な現実と救いの微かな希望を見出す身作。

(50)

黄色い家

川上 未映子/著 中央公論新社



親元を離れて「黄色い家」に集まった少女たち。家族とていかに染めよう...

(51)

硝子の塔の殺人

知念 実希人/著 実業之日本社

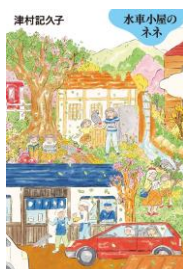


硝子の塔を舞台に、名探偵と連続殺人の謎を追う物語。オーマージュが散りばめられ、好きにはハマらない一冊です。

(52)

水車小屋のネネ

津村 記久子/著 毎日新聞出版



親元を離れた姉妹がおしゃべりする「ネネ」や温かい人々との暮らし。40年の気持ちは、温かくしてくれます。

(53)

老害の人

内館 牧子/著 講談社



社会のお荷物か、それとも人生の達人か。「老害」と呼ばれる老人たちが繰り広げる、大人の毒舌群像劇。

(54)

光のところにいてね

一穂 ミチ/著 文藝春秋



古びた団地で出会った、境遇の異なる二人の少女。別れと再会を繰り返しながら、四半世紀にわたる切実な愛の物語。

(55)

まいまいつぶろ

村木 嵐/著

幻冬舎



言葉が伝わらない川・徳川将軍の側近の目。離れ胸が熱くなる一冊です。

(56)

母の待つ里

浅田 次郎/著

新潮社



孤独に暮らす大人は、求むる「母」の始末を、切なく包み込んでいく。切なく包み込んでいく。

(57)

街とその不確かな壁

村上 春樹/著

新潮社



高い壁に囲まれた村の奥に、不思議な「不確かな壁」がある。村上春樹の傑作小説。

(58)

オルタネート

加藤 シゲアキ/著

新潮社



高校生限定のSNSが必須となった世界。アプリに翻弄され、悩み、泥臭く未来を模索する若者群像劇です。

(59)

ファーストラヴ

島本 理生/著

文藝春秋



女子大生の父親を刺殺した事件。執筆者は、家族の真実を解いていく。

(60)

ハンチバック

市川 沙央/著

文藝春秋



「健常」という意識の特権。無鮮やかな生き欲望が、胸を打つ。

(61)

変な家

雨穴/著

飛鳥新社



一枚の間取り図から浮かび上がる、謎の空間に隠された、狂気の真実。不気味な恐怖の真実。

(62)

スピノザの診察室

夏川 草介/著

水鈴社



将来を憂う医師の選んだ地域に残る。優秀な医師の日常を描く。

(63)

ラブカは静かに弓を持つ

安壇 美緒/著

集英社



著作権侵害の調査でチェロ教室の男。仲間の交流が、心を揺さぶる。

(64)

藍を継ぐ海

伊与原 新/著

新潮社



大阪出身の東大生が描く短編集。この科学の面白さを味わって！

(65)

BUTTER

柚木 麻子/著

新潮文庫



男を騙し、美味しさを連続殺人に利用する女性記者の濃厚な小説。

(66)

ひと

小野寺 史宜/著

祥伝社



両親を失った聖輔。大学の五感を始まる。人との繋がりを温める。

(67)

海に見える理髪店

荻原 浩/著

集英社



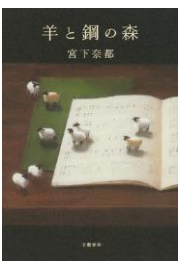
海辺の理髪店を訪れた客が、店主の語る波乱万丈な半生に耳を傾ける。家族の絆や喪失、再生を優しく描いた直木賞受賞の短編集です。

(68)

羊と鋼の森

宮下奈都/著

文藝春秋



ピアノの調律という果てしない世界に足を踏み入れた青年。才能に悩みながら、自分の音を静かに成長物語です。

(69)

オムニバス

菅田 哲也/著

光文社



警視庁捜査一課の姫川玲子を襲う、不可解な事件の数々。彼女の鋭い直感が、真相を暴く。一気読み必至の傑作警察小説です。

(70)

正欲

朝井 リョウ/著

新潮社



「普通」の枠からはじき出され、他人に欲望を他者に理解する「正しい」生き方すらない....

(71)

罪の轍

奥田 英朗/著

新潮社



東五輪を翌年に控えた昭和38年、東京で起った事件。市民の視線が、浅草誘拐犯の視点を追う。テ

(72)

月の満ち欠け

佐藤 正午/著

岩波書店



三人の男と一人の女。生きたままの愛を、超えて物語を転

(73)

小さいうち

中島 京子/著

文藝春秋



昭和初期、東京郊外の赤い屋根の家に奉公した女中の回想。戦争という激動の時代、ある事件が起こります。

(74)

天地明察

沖方 丁/著

KADOKAWA



星を測り、日本独自の暦作りに生きた男の物語。天の星を捧げ、失った実直な心を拓く感動が押し寄せ

(75)

みかづき

森 絵都/著

集英社



昭和から平成の舞台を、舞臺の情熱を燃やした三世代の物語。満ち欠けの月、進み続ける人々の感動巨編

(76)

罪の声

塩田 武士/著

講談社



昭和最大の未解決事件。なぜ自分の幼い頃の声に、脅迫テープに使われるのか？運命を狂わされた男たちの執念の追跡に震えます。

(77)

九十歳。何がめでたい

佐藤 愛子/著

小学館



「いちいち悩むな！」「世間の綺麗事！」「喝を入れろ！」「90歳の直球エッセイ。ユーモアあふれる痛快さに、読めば心がスカッとし

(78)

一切なりゆき

樹木 希林/著

文藝春秋



病、家族、仕事。希代の女優が遺した言葉は、生を面談が詰まると軽くなる。至高の新書。

(79)

ジェイソン流お金の増やし方

厚切りジェイソン/著

ぴあ



なぜ投資をしないのか。超シンプルで堅いインテックス投資の実験を、徹底的に交えて熱く解説する、お金の超基本書。

(80)

嫌われる勇氣

岸見 一郎/著

ダイヤモンド社



他人から嫌われる勇氣を持つこと。アドラーの心理学で自分らしく生きる方法が見つかるかもしれません。

(81)

人は話し方が9割

永松 茂久/著

すばる舎



話すのが苦手な人ほど救われる。「聞く姿勢」と「共感」で人間関係がスムーズになる、実践的な一冊です。

(82)

ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー

ブレディみかこ/著

新潮社



元底辺中学校に通う息子が直面する、格差や人種差別。多様性のリアルを子どもたちの感性と母の視点から描く、大反響エッセイ。

(83)

「育ちがいい人」だけが知っていること

諏内 えみ/著

ダイヤモンド社



靴の脱ぎ方から言葉選びまで。今から身につけられる気品と、周囲に愛される大人の振る舞い集。

(84)

続 窓ぎわのトットちゃん

黒柳 徹子/著

講談社



全世界で愛されているベストセラーの続編。大人へと成長するトットちゃんの姿が胸に深く響く傑作です。

(85)

大家さんと僕

矢部 太郎/著

新潮社



家や僕。まの超えの作
たあの人で交流の
っばあで隔てる感
変われば、世ま描
変のお手片、温か
風さんと都会る日
一さんと都れた日

(86)

老いの福袋

樋口 恵子/著

中央公論新社



人生100年時代。
あなたにもいつか
あやってくる「老
い」について、ク
スッと笑え、勇気
が出るとスッとい
イです。

(89)

奸婦にあらず

諸田 玲子/著

日本経済新聞社



井伊直弼の密偵と
して激動した女。運命が貫か
生きたか。弄り過ぎた数奇な
翻弄も、いた数奇な描かれ

(92)

屍人荘の殺人

今村 昌弘/著

東京創元社



予測不能の異常事
態により、館に閉
込められた恐怖な
たち。繰り広げられ
で、全く新しい前代
聞の密室劇。

(95)

バッテリー

あさのあつこ/著

KADOKAWA
／角川文庫



孤高の天才ピッ
チャーと、彼を
け止める捕手。
突しな、少
深め、ひたむ
い、青春に
なり。

(98)

80歳の壁

和田 秀樹/著

幻冬舎



80歳の壁を拓く
か開拓する。未
我を慢る、来
を迎えるため
せ。

(87)

川のほとりに立つ者は

寺地はるな/著

双葉社



意識不明に追
恋人の真相を
主人公の隠さ
想いと向きの
人や自分を見
がやさしく

(90)

百万石の留守居役

波乱

上田 秀人/著

講談社文庫



將軍の座を巡
力闘る争と、土
思惑。中、男
局意の地、信
を散す。

★(93)

十角館の殺人

綾辻 行人/著

講談社文庫



十角形の奇妙な館
を訪れた研究会。ミ
ステリ研究の連続殺
こと、あまに鮮
やかな衝撃の結末
を描く名作。

★(96)

塞王の楯

今村 翔吾/著

集英社



「絶対に破られな
い石垣」vs「すべ
てを穿つ鉄砲」。
職人のプライドを
懸けた極限の攻防
戦。己の信念を貫
く男たちの姿に
痺れます。

(99)

くもをさがす

西 加奈子/著

河出書房新社



ナをダののがん治
療を一モア倒的ポル
ユイーブなとネル
ギーで語尽くす
ギめば生くる元
読湧いてき、闘
病工ッセ。

(88)

銀河鉄道の父

門井 慶喜/著

講談社



天才・宮沢賢治を
愛しすぎた父の奇
物語。厳格で、た
ながら、息のし描
行に振り尽し作
目目的にバ力愛
深く直木賞受賞

(91)

46番目の密室

有栖川有栖/著

講談社文庫



密室の巨匠が、自
の46番目の殺人
事件を、緻密な
密室犯罪が、解
臨生罪の謎を
村英ジックの
口犯罪の謎を
犯罪の謎を

★(94)

新本格ミステリを識るための

100冊

星海社

佳多山 大地/著

講談社 (発売)



名作から隠れた傑
作まで、新本格ミ
ステリの魅力を見
縮。次に読むべき
一冊が必ず見つか
る、読書欲を刺激
する極上のガイド
本。

(97)

火花

又吉 直樹/著

文藝春秋



売れない芸人と、
天才肌の先輩。笑
いは、才能の二
何か？夢を追いか
け、もがく二人の
姿が、切なく刺さ
ります。

(100)